

みなみ ぼう そう

南房総


第40号
平成28年5月12日
議会だより
発行 千葉県南房総市議会



夢を叶えた

白浜中学時代の加藤選手

3 月定例会レポート

当初予算審査	4p
補正予算審査	10p
委員会報告	12p
6 議員が市政を質す	15p
研修報告	21p
こんなまちづくりに期待します	23p
用語の解説	24p



白浜ブルーホークス

3月定例会



市長施政方針

南房総市長 石井 裕

日本経済は、国の経済再生に向けた取り組みにより、デフレから脱却しつつあります。

本市においても景気は緩やかな回復傾向にあります。今後は、国の支援を有効に活用し、「南房総市総合戦略」に基づく「若者に魅力あるしごとをつくる」「安心して子供を産み育てる環境をつくる」の各施策を、着実に実行し、地域経済の活性化に最大限努力してまいります。

また、本市の財政運営においては、合併特例期間終了後を見据えた行財政改革の推進が重要な課題となっています。平成28年度予算編成では「公共施設等総合管理計画」に基づく事業について積極的に予算計上し、実行してまいります。

今後とも、国、県の施策、制度改正の動向を注視しながら、財源確保に努め、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めてまいります。

平成28年第1回（3月）定例会が、2月23日から3月17日までの24日間開催され、承認案1件、条例議案23件、一般議案12件、予算案14件、人事案6件、発委案2件を審議した。採決の結果、一般会計当初予算の修正案を可決し、他はすべて原案どおり可決した。今回の議会で決まった主なこと、議決結果は、次のとおり。

平成28年度 主な会計別予算

会 計 名	平成28年度予算額①	平成27年度予算額②	増減額①－②
一 般 会 計	原案 222 億 2,900 万円	225 億 5,300 万円	△ 3 億 2,400 万円
	修正後 217 億 9,189 万円		△ 7 億 6,111 万円
国民健康保険特別会計	75 億 2,422 万円	75 億 3,161 万円	△ 739 万円
後期高齢者医療特別会計	5 億 7,691 万円	5 億 601 万円	7,090 万円
介護保険特別会計	51 億 8,197 万円	49 億 7,320 万円	2 億 877 万円

平成 28 年南房総市議会 3 月定例会提出議案等議決結果

定例会レポート

議案種類	件 名	議決結果
承認第 1 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 27 年度南房総市一般会計補正予算(第 7 号))	原案承認 全会一致
議案第 1 号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に 関する条例の制定	原案可決 全会一致
議案第 2 号	任期付職員の採用等に関する条例の制定	原案可決 全会一致
議案第 3 号	職員の退職管理に関する条例の制定	原案可決 全会一致
議案第 4 号	いじめ防止対策推進条例の制定	原案可決 全会一致
議案第 5 号	行政組織条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 6 号	情報公開条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 7 号	個人情報保護条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 8 号	コミュニティセンターの設置及び管理に 関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 9 号	附属機関設置条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 10 号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 11 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部 改正	原案可決 全会一致
議案第 12 号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する 条例の一部改正	原案可決 賛成多数
議案第 13 号	常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部 改正	原案可決 賛成多数
議案第 14 号	一般職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 15 号	職員等の旅費に関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 16 号	山名地域振興基金条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 17 号	旧教育委員会教育長の給与及び勤務時間等 に関する条例の一部改正	原案可決 賛成多数
議案第 18 号	学校施設使用料条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 19 号	公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 20 号	児童遊園設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 21 号	子ども医療費助成に関する条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 22 号	水道事業給水条例の一部改正	原案可決 全会一致
議案第 23 号	白浜自然休養村管理センターの設置及び管理 に関する条例の廃止	原案可決 全会一致
議案第 24 号	財産の取得 (大型スクールバス)	原案可決 全会一致
議案第 25 号	財産の取得 (中型市民バス)	原案可決 全会一致
議案第 26 号	財産の無償貸付	原案可決 全会一致
議案第 27 号	市道路線の廃止	原案可決 全会一致

議案種類	件 名	議決結果
議案第 28 号	市道路線の認定	原案可決 全会一致
議案第 29 号	市道路線の変更	原案可決 全会一致
議案第 30 号	過疎地域自立促進計画の策定	原案可決 全会一致
議案第 31 号	指定管理者の指定 (ちくら介護予防センター 「ゆらり」)	原案可決 全会一致
議案第 32 号	指定管理者の指定 (富山地域振興施設「富 里」及び富山観光インフォメーションホール)	原案可決 全会一致
議案第 33 号	指定管理者の指定 (三芳郡の里物産センター、 三芳郡の里交流センター及び三芳乳製品加工施設)	原案可決 全会一致
議案第 34 号	指定管理者の指定 (千倉黒潮物産センター)	原案可決 全会一致
議案第 35 号	指定管理者の指定 (和田地域振興拠点施設 及び和田地域交流拠点施設)	原案可決 全会一致
議案第 36 号	平成 27 年度一般会計補正予算 (第 8 号)	原案可決 賛成多数
議案第 37 号	平成 27 年度後期高齢者医療特別会計補正予 算 (第 1 号)	原案可決 全会一致
議案第 38 号	平成 27 年度介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決 全会一致
議案第 39 号	平成 27 年度水道事業会計補正予算 (第 4 号)	原案可決 全会一致
議案第 40 号	平成 28 年度一般会計予算に対する修正案	可決 賛成多数
	平成 28 年度一般会計予算修正案を除く原案	可決 賛成多数
議案第 41 号	平成 28 年度国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 42 号	平成 28 年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第 43 号	平成 28 年度介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 44 号	平成 28 年度滝田財産区特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 45 号	平成 28 年度北三原財産区特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 46 号	平成 28 年度南三原財産区特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第 47 号	平成 28 年度国保病院事業会計予算	原案可決 全会一致
議案第 48 号	平成 28 年度水道事業会計予算	原案可決 全会一致
議案第 49 号	平成 27 年度南房総市一般会計補正予算 (第 9 号)	原案可決 全会一致
同意第 1 号	南房総市教育委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	原案同意 全会一致
諮問 第 1 ～ 5 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求め ることについて	原案可決 全会一致
発委第 1 号	委員会条例の一部改正	原案可決 全会一致
発委第 2 号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する 条例の一部改正	原案可決 全会一致

議案ごとの賛否

議員名		栗原保博	阿部美津江	平川幸男	安田美由貴	峯隆司	川崎慎一	関壽夫	高木幹男	長谷川博	青木建二	寺澤利郎	鈴木直一	川上清	飯田彰一	辻貞夫	川名晴作	青木正孝	羽山和夫	木曾貴夫	真木利幸
議案名	議案名																				
議案第 12 号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	旧教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	平成 27 年度一般会計補正予算 (第 8 号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	平成 28 年度一般会計予算に対する修正案	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	欠	○	×	×	×	○	×	○	×	×
	平成 28 年度一般会計予算 (修正案を除く原案)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第 42 号	平成 28 年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

平成28年度南房総市一般会計予算

原案 222 億 2,900 万円から 4 億 3,711 万円を 減額修正し 217 億 9,189 万円に



当初予算

平成 28 年 3 月 8 日、
9 日、予算審査特別委
員会を招集し、議長を
除く全議員で審査を
行った。

主な質疑・答弁は次
のとおり。

◎一般会計

総務委員会所管

○ふるさと納税推進事業
2 億 5 2 2 4 万円

問 リピーターの獲得
と宣伝に活用できる「ふ
るさと納税のポイント
制度」の活用を検討し
ては。

企画政策課長 総務省
から金券等は返礼品に
馴染まないとの見解が
出ているが、ポイント
制は今後検討する。

○交通結節点整備事業
6 5 5 0 万円

問 白浜バスターミナ
ルを整備するが、千倉
線と白浜千倉線の一本

化は考えられないか。

企画政策課長 整備と
合わせ再編も検討して、
地域にあった形、観光
客も利用できる形に検
討していきたい。

問 観光客の集中する
灯台付近にターミナル
を建設し、高速バス等
を乗り入れる考えはな
いか。

企画政策課長 整備され
るコミュニティセンター
との一体的な利用の中
で、活性化にも繋げ、
便数も確保したい。事
業者と共同で整備する
ことを考えている。

○スクールバス運営費
1 億 9 8 3 4 万円

問 白浜地区の一部に
はスクールバスが走っ
ていないが。

教育総務課長 単独のス
クールバス・市営路線バ
ス・混乗バス等を利用し
て運営をしており、白
浜は路線バス対応で通
学補助費を出している。

○学校給食センター等
管理運営事業
3 億 1 6 9 4 万円

問 パンや麺を納入し
ていた業者への影響は。

教育長 パンを納めて
いた業者・麺類業者に
も了解をもらっており
パン業者で炊飯を手掛
けている業者には炊飯
を頼んでいる。

○富山小中一貫校・幼保
一体化施設建設事業
7 億 3 0 8 1 万円

問 4 月に小中一貫校
がスタートし、来年 4
月に幼保一体化施設が
スタートでよい。

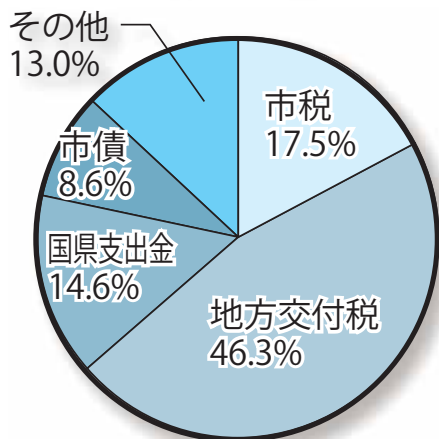
学校再編整備室長 工事は
28 年度で完成するが引
越等あるので幼保一体
化施設の開園は 29 年度
中と考える。



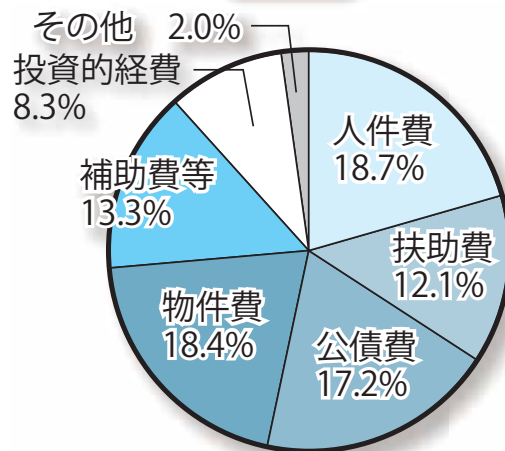
完成した富山小中一貫校運動場

平成 28 年度 一般会計予算内訳

歳入



歳出



歳入

※市債：市が借りるお金

市 税	38 億 209 万円	市 債	18 億 7,290 万円
地方交付税	101 億円	そ の 他	28 億 2,632 万円
国県支出金	31 億 9,058 万円	合 計	217 億 9,189 万円

歳出

※公債費：市が返すお金

人 件 費	40 億 7,039 万円	補 助 費 等	28 億 9,303 万円
扶 助 費	26 億 4,224 万円	投 資 的 経 費	18 億 1,592 万円
公 債 費	37 億 4,962 万円	そ の 他	26 億 878 万円
物 件 費	40 億 1,191 万円	合 計	217 億 9,189 万円

○歳入歳出

問 税収が38億円に対し、人件費が40億円と賃金3億円を合わせると43億円となる。税収を上回っているが。

行革財政課長 合併当時の人件費53億円弱から、10年間で10億円以上削減した。極力市税を越えないように財政構造を変えていく必要がある。

○認定こども園施設整備 備事業補助金

1億5947万円

問 補助金の概要は。子ども教育課長 白浜保育園が事業主体で、幼保連携型認定こども園を建設する。国・県・市が負担し、市の持ち出しは、5316万円。

福祉委員会所管

○住民票等コンビニ交付事業

2520万円

問 コンビニがないところもあるので、農協への設置は。

市民課長 システムが異なり大きな構築費が掛かるので困難。

○マイナンバー制度管理運営事業

544万円

問 本市では、他の自治体のように個人番号カードを発行できない

ことがあったか。

市民課長 基地局のサーバーがパンクして、発行できない事例があった。当市では停止時に2人来庁したがお詫びをした上で後日、自宅に届けた。

○母子家庭等自立支援 教育訓練給付金事業

13万円

問 10万円上限で、支給見込み数が2人だが、予算額が13万円の理由は。

社会福祉課長 資格取得の支援だが、27年度の実績を基にした。



個人番号カード

400万円

問 打ち切る理由は。

保健福祉部長

ない単独事業であること、助成額が1人当たり最大でバスが1万5千円、タクシーが2万100円で、ただちに生活が困窮するレベルではないなど、総合的に勘案して9月に廃止する。

産業委員会所管

○有害鳥獣被害対策事業

1億1761万円

問 イノシシの捕獲奨励金を1千円上げた理由は。

農林水産課長

27年度

に国の報奨金が6千円から8千円に上がったので、市の方も捕獲意欲の向上や捕獲従事者の推進を図るため、県



増えるイノシシ

3千円、市4千円を
1千円上げて8千円に
した。

問 第一産業を守る

上げていくと、イノシシを捕った方が儲かるという考えも生じるのでは。

では。

市長 猟師の育成が目的ではなく、被害軽減のために試験的に行う。

○農業振興法人支援事業

2000万円

問 担い手の育成だが、就農したのは何人か。

農業支援室長
平均で毎

年十数人が新規就農している。その内、約3分の2が親元就農、3分の1が新規就農。

○栽培漁業推進事業

5594万円

問 輪採漁業は、平板礁4500枚だが、漁場の数と何年輪採をするのか。

農林水産課主幹 白浜地区で3カ所の設置を予定し、4年輪採を行う。

農林水産課主幹
白浜地

○漁港建設一般事業

2603万円

問 漁港内のしゅんせつ（※）だが、漁協20%負担の関係で、年2力所しかできないが、困っている人が多い。緊急時に市単独でできないか。

農林水産課主幹
当初予

算では2カ所からの要望があつたが、小規模な撤去は随時行つてゐる。

※しゅんせつ

港などの底面を浚さらつて
土砂などを取り去る土木
工事。

○市営住宅整備事業

4億959万円

問 老朽化した市営住宅を全て面倒みるとなると、将来必ず同じ問題が起きる。

空きが出ている民間の



しゅんせつが必要な白浜地区名倉漁港

○観光PR事業

1736万円

問 観光PR事業は、新しいイベントはあるか。

観光プロモーション課長（以下、
観光プロ課長）

観光協会への補助で、
例年通り。

問 市からの新しい提
案は。

管理課長 建物だけの
単価が、原岡86万円、
深名107万円。

市独自
観光プロ課長
に、FMラジオで毎週
10分程度のPRを1
年間行っている。



ラジオPRも担当する観光大使DJ KOUZAKUさん

また、観光大使等を利用して市のPR、キャラクターの「みなたん」を利用したPRなど、例年以上に力を入れている。

○「和田浦WA・O!」管理運営事業

296万円

問 和田町の基金が組み込まれていることを使用者は認識が必要。取締役が2人になったが、それでよいのか。

市長 地域づくり協議会と南美舎も、市民の税金が投入されていることは、十分に認識していると考ええる。よりよい運営に努力してもらうことに市も積極的に関与していく。

問 外部から役員数を指導できるか。

観光プロ課長 本来は市から言うべきではないが、話し合いの中で、自主的に行うとのこと。

○観光トイレ管理事業

3438万円

問 千倉漁港に前から要望がある観光トイレを設置できないか。

市長 漁港区域なので、市の意向だけでは建てられない。漁協、県の南部漁港事務所とも協議したが、現在は停滞している。

◎後期高齢者医療特別会計

問 保険料は2年に1回見直す、今年度いくらか。

保険年金課長 現在の被保険者数と5割、2割軽減者数は、28・29年度は、均等割額は17000円増の40400円、所得割率は、0.5ポイント増の7.93%。

被保険者数は、334人増の9067人。

5割軽減者は1541人、2割軽減は679人の見込。

問 短期証の数は。

保険年金課長 2月1日現在で6件。

反対討論

財政安定化基金残高は、想定額に届いていないが、65歳以上の障害者や75歳以上の負担増には賛同できない。

国の負担増や、県に対して基金取り崩しを求めるべきと考え、反対する。

採決の結果、原案どおり可決。

◎北三原財産区特別会計

問 この予算で約20haの山を管理できない。財産区で決める問題だが、関心が低い。市の指導で市の財産にはできないのか。

行革財政課長 居住する地域住民の財産であって、地域住民から財産

区解散の申し出があれば、市として検討する。

◎水道事業会計

問 有収率は。

水道課長 有収率は25年度が76.5%、26年度が73.1%、残念なことに28年1月には70.1%という状況。

- ◎国民健康保険特別会計
- ◎介護保険特別会計
- ◎滝田財産区特別会計
- ◎南三原財産区特別会計
- ◎国保病院事業会計

については、原案どおり可決。

平成28年度公営企業会計予算

項目		水道事業会計	国保病院事業会計
収益的収入及び支出	収入	16億2,594万円	6億1,620万円
	支出	15億3,070万円	6億1,620万円
資本的収入及び支出	収入	3億6,682万円	1,722万円
	支出	12億3,762万円	2,756万円

公園再整備事業を減額する

修正案を可決

3月17日最終日の本会議で、平成28年度一般会計予算に対する修正案が提出された。

修正案の趣旨

初めての市営住宅建て替え事業であり、他の市営住宅が老朽化した時には、同様に新築できると思えない。

増加する民間アパート、貸家の空室を活用すべき。

平成31年度から赤字に転落する中、建設後には維持費、修理費等が発生する。



富浦駅ふれあい公園

和田白渚団地の建替えは行われず、富浦地区を建替えるのでは、税の公平性が疑われる。

建設単価が民間に比べ非常に高い。

「富浦駅ふれあい公園再整備」は、市営住宅整備のための事業であることから、「市営住宅整備事業」と「富浦駅ふれあい公園再整備事業」合計4億3711万円を減額し、217億9189万円に改める。

当初予算

修正案に対する質疑

問 国、県の補助事業を使えば、より厳正な基準、審査、施工の元に市民に安全、安心な物が供与できると考えるが。

提出者 安全、安心は当たり前。市営住宅建設ではなく、民間アパート、貸家の空室の活用も考えるべき。一般財源分で行政区の要望を優先すべきと考える。

修正案に対する討論

反対討論

・富浦地区の市営住宅は、築60年近く、低額所得で、高齢者の割合も高く、障害者等も入居している。

家賃収入と国からの家賃対策補助金により、13年から15年後に



大房団地（富浦地区）

は、市の負担は黒字に転じるが、民間の空きアパート等を借り上げた場合、より大きな財政負担が発生する。

弱者支援の観点からも両事業を計画通りに進めるべきと判断し、反対する。

・国の建設工事積算基準によって積算した単価であること。

入居希望者は低所得者で、民間アパート等の入居は無理である。

富浦地区の市営住宅

は、意向調査の結果、99戸から、取り壊し、払下げ等で、入居希望者は26戸となり、経緯も議会に報告されていることから、予定通り進めるべきと考え、反対する。

・公共施設として、品質の確保、入札における公平性、透明性の確保のため、公共の積算基準に基づいて積算されている。

国の定める公営住宅の標準建設費よりも安

市営住宅整備事業と富浦駅ふれあい

当初予算



吹代団地（丸山地区）

価で、公共用地が有効活用されることから適切と考え、修正案に反対する。

賛成討論

・和田白渚団地は建て替えず、富浦は建て替えるのは、不公平と考える。

まもなく赤字に陥る中、既存の建物の維持管理費が年間16億円を

超え、その整理に

270億円掛かり、水道が1年間3億円漏水する今、このような単価の高い市営住宅を建てていいのか。

市内業者育成の観点からも、地元業者に見積もりを取れば、もっと安く出来るかも知れないと考え、賛成する。

採決の結果、賛成多数で可決。

原案に対する討論

反対討論

・ぜんそく等小児指定疾患医療助成制度を7月末で打ち切るが、金額も小さく、制度存続を求める。

高齢者のバス券とタクシー券外出支援サービス事業の存続を求める。

個人番号カード発行側でのトラブルが多く、カード紛失時の対応など、システム導入にも賛同できない。

丸山・和田統合小学校等建設事業は、現状での造成費計上は拙速である。

ごみ処理広域化推進費は、広域処理自体の見直しを検討してほしい。

市営住宅は、原岡地区の平屋を2階建てにすれば、地盤の弱い深

名地区はいらない。

以上のことから反対する。

賛成討論

・最大の課題である財政支援が終わった後の安定した行財政運営のため、公共施設の再編や、整理事業に積極的

に取り組み、行財政改革を進めようとしていることに期待し、賛成する。

・限られた予算の中で、若者に魅力ある仕事を創る経済施策や、子育て支援策は、子育て世代として評価できる。
ふるさと納税推進事業は、地域経済の活性化に向け期待が持て、バランスのとれた予算であり、賛成する。

修正案を除く原案は、採決の結果、賛成多数で可決。



千田黒潮団地（千倉地区）

平成 27 年度 一般会計補正 (第 8 号) 3 億 7,087 万円追加
(第 9 号) 4 億 4,525 万円追加

総額 242 億 2,147 万円



竣工した白浜コミュニティセンター

補正予算

◎一般会計補正予算(第8号)

○人件費

問 期末手当が増額されるが、市長・副市長・教育長・議長・副議長・議員一人当たり、どの程度増額か。

総務課長

市長 996000 円、
副市長 832800 円、
教育長 769200 円、
議長 495600 円、
副議長 432000 円、
議員 404400 円の増。

○廃園・廃校施設管理事業繰越明許(※)

2079 万円

問 旧七浦小の合併処理浄化槽工事が繰越された理由は、4 月からの開業に間に合うか。

学校再編整備室長 確認申

請の提出が 28 年 3 月になると連絡があり、年度内完成が見込めない。4 月からの開業は厳しい。

※繰越明許

事情によって年度内に支出が終らないと見込まれるものを、議会の議決を得て翌年度に繰越して支出する制度。

○富浦幼保施設整備繰越明許

8386 万円

○丸山・和田統合小建設繰越明許

2 億 1527 万円

○富浦体育館耐震化工事繰越明許

1931 万円

問 内容は。

学校再編整備室長

富浦幼保一体化施設は、建築・電気・機械設備の工事が 7830 万円は 3 月で完了し、カーテン・家電等備品・竣工式の経費 556 万円が繰越される。

丸山・和田地区統合小学校は、農地法に伴う事務処理に不測の日数を要し、実施設計に係る開発行為の申請

○し尿処理施設建設事業繰越明許

1058 万円

問 候補地選定業務委託料の内容は。

環境保全課長

用地買収の契約に至っておらず、年度内に処理できない。
生涯学習課長 富浦体育館は、天井、軒先の木製下地更新、その他の追加で約 1 カ月程度必要なため、年度内の完了が困難。
十数カ所に絞ったが、一旦 45 カ所を含めて再検証する。



富浦幼保一体化施設

○(仮称)白浜コミュニティセンター建設事業

6664万円減額

問 減額した理由は。

市民協働課長 実施設計での金額の精査と企業努力による入札差金。

問 積立と取崩しを繰り返すのか。

行革財政課長 数年以内に収支が赤字になる見込みで、今の内に積み立てたい。

○基金残高

問 減債基金と公共施設再編整備基金は幾らか。

行革財政課長 減債基金は約52億円8千万

金は約52億円8千万

反対討論

議員・市長・副市長・教育長の期末手当の増額は、高齢者へのサー

円。公共施設再編整備基金は約49億円。

問 積立と取崩しを繰り返すのか。

行革財政課長 数年以内に収支が赤字になる見込みで、今の内に積み立てたい。

問 工事費に見合うメリットがあるのか。

農林水産課長 白浜に施設を作りゆっくり滞在してもらい、移住定住につなげたい。ごみ処理は、花の情報館から1袋当たり500円のごみ袋を購入してもらう。

賛成討論

し尿処理施設建設事業で、新たな建設候補地を選定するための業務委託料が追加されている。早期に候補地が決定されることを期待する。その他、人件費や事業費確定による補正、将来に備えた基金の積立も妥当なので、賛成する。

採決の結果、原案どおり可決

○一般会計補正予算(第9号)

○キャンピングカー駐車場3台整備

206万円

○クラウドソーシング

(※)

問 当初予算は130万円、この補正予算では250万円計上されているが、講座

の回数が増えるのか。委託先はどこか。

商工課長 3回程度を予定し、フォローアップ研修なども行い、拡充して実施する。委託先は、実績のある業者を予定。

○専決処分の承認(一般会計(7号))

○後期高齢者特別会計(1号)

○介護保険特別会計(4号)

○水道事業会計(4号)

補正予算



クラウドソーシング人材育成講座

※クラウドソーシング 企業が在宅でできる業務(簡単な文章入力、デー

タ入力など)をインターネットで個人に外注する仕組み。

いじめ防止対策推進条例 を制定

総務

平成28年3月7日、総務委員会を招集し、付託された議案の審査を行った。
主な質疑・答弁は、次のとおり。

◎任期付職員の採用に関する条例の制定

問 想定される職種と雇用の予定は。

総務課長 ケースワーカーや測量士、情報通信関連の専門職、知識職員の補充雇用、マーケティング市場の専門家や民間の広報経験者を想定する。

平成28年度は富浦子ども園長を採用する予定。

◎いじめ防止対策推進条例の制定

問 子ども達が条例を目にする機会があるか。
子ども教育課長 ホームページ等に掲載し、学



仲良く遊ぶ子ども達

校を通じ周知する。
問 「いじめを受けていると思われた時、適切かつ迅速に対処する」とあるが、対応は。
子ども教育課長 年間を通じアンケート調査を実施し、相談窓口を設け、校長・教頭が代表する「いじめ防止対策

委員会」を設置し、終息に努める。

◎行政組織条例の改正

問 企画部と総務部を統合する経緯は。

総務課長 多くの退職者が予想されるので、管理部門ということで

統合する。

◎コミュニティセンター設置・管理に関する条例の改正

問 調理室料金に差があるのは。

市民協働課長 部屋の面積の違いによる。

問 大会議室の料金設定は。

市民協働課長 市民の利便性を考え、ステージを除いた部分とステージを分けた設定とした。

◎学校施設使用料条例の改正

問 料金の端数が細かいが。

子ども教育課長 10円単位だが、機会があったら適切な単位に揃えたい。

◎公民館の設置・管理に関する条例の改正

問 三芳公民館和室の解体は、利用者の了解が得られているのか。

生涯学習課長 利用者には事前に説明済みで、三芳農村環境改善センターを代替施設と考えている。

解体時期は未定だが、申し出があれば売却も考える。

◎過疎地域自立促進計画の策定

問 過疎法延長の見込は。

企画政策課長 東日本大震災で5年延長し32年度が期限だが、再延長は未定。



竣工した白浜コミュニティセンターの大会議室

◎行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
◎職員の退職管理に関する条例の制定
◎情報公開条例の改正
◎個人情報保護条例の改正
◎附属機関設置条例の改正

◎人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の改正
◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正
◎議会議員の議員報酬・費用弁償等に関する条例の改正
◎常勤特別職の給与・旅費に関する条例の改正

◎一般職の給与に関する条例の改正
◎職員の旅費に関する条例の改正
◎山名地区地域振興基金条例の改正
◎旧教育委員会教育長の給与・勤務時間等に関する条例の改正
◎児童遊園の設置・管理に関する条例の改正
◎財産の取得（大型スクールバス）
◎財産の取得（中型市民バス）
については、原案とおり可決。

福祉

子ども医療費助成を 中学校 3 年生まで拡充

平成 28 年 3 月 4 日、福祉委員会を招集し、付託された議案の審査を行った。

主な質疑・答弁は、次のとおり。

◎子ども医療費助成に関する条例の改正

問 改正により、この制度が、どのように変わるのか。

社会福祉課長 小学校 4 年生から中学校 3 年生までは入院のみだったが、入院、通院、調剤のすべてが中学校 3 年生まで助成の対象となる。

問 支給方法を現物給付とした場合、国庫負担金への影響は。

市民生活部長 影響は少ないものと思われる。

問 8 月からの施行だが、4 月までさかのぼっての支給はできないか。

社会福祉課長 さかのぼっての支給はできない。

◎指定管理者の指定（ちくろ介護予防センター「ゆらり」）

問 事業計画の概要に「トラブルや苦情の未然防止と処理方法」とあるが、今までにトラブルや苦情があったのか。

健康支援課長 特に報告はない。

原案とおり可決。

産業

道の駅の指定管理者を更新



旧富山保健福祉センター

平成28年3月7日、産業委員会を招集し、付託された議案の審査を行った。

主な質疑・答弁は、次のとおり。

◎白浜自然休養村管理センターの設置・管理に関する条例の廃止

問 廃止後、施設はどうなるのか。

農林水産課長 来年度、解体予定だが、当面は白浜地域センターの駐車場とする。

◎財産の無償貸付（旧富山保健福祉センター）

問 (株)ドリームライクの経営状況と今後の見通しは。

商工課長 去年の10月に社員3人で創業し、4カ月間の売り上げは、約1千万円。来年度は3人を雇用。売り上げは1億200万円、営業利益は5300万円を見込んでいます。

◎指定管理者の指定（三芳鄙の里物産センター、三芳鄙の里交流センター、三芳乳製品加工施設）

問 指定管理収支計画書の収入計画のとおり、施設利用料を上げる予定か。

観光フロ課長 指定管理料は、削減される方針で、施設使用料は、この計画通り行いたい。

◎指定管理者の指定（和田地域振興拠点施設・和田地域交流拠点施設）

問 産業委員会で調査等の結果、執行部へ「和田浦WA・O!」管理運営に関して申し入れをしたが、実施状況は。

観光フロ課長 南美舎の役員は、地域づくり協議会の理事を辞任する。企画管理部会の役員選定をし、この役員、市職員、南美舎、生産者、地元区長代表による、道の駅管理運営委員会を設立する。3月28日の臨時総会で承認予定。地域づくり協議会と



鄙の里物産センター・交流センター

南美舎で結ぶ協定書の協議には、市職員が立ち会うことで準備中。南美舎の取締役に、地域づくり協議会会員や生産者を加えて、2人から5人に増やすと聞いている。

◎水道事業給水条例の改正

◎市道路線の廃止

◎市道路線の認定
◎市道路線の変更
◎指定管理者の指定（富山地域振興施設「富里・富山観光インフォメーションホール」）
◎指定管理者の指定（千倉黒潮物産センター）

については、原案どおり可決。



市役所の公用車



阿部美津江議員

公用車への有料広告で 歳入を増やす取り組みを

前向きに検討していく

問

掲載事業者を募り公用車の車体等を活用した屋外広告を推進する考えはないか。

市長

市所有の稼働率の高い公用車などへ

問

の導入は、前向きに検討していく必要がある。広告収入事業の課題は。

市長

新たな財源確保対策に加え、民間と

問

掲載媒体がごみ収集車やバキュームカーなどの場合は、掲載事業主にとっては懸念材料となる。ホームページへの企業広告と公用車への企業広告をマッチングさせて掲載費用を設定することは可能か。

総務部長

市の要綱を改正し料金を設定することで両方に掲載をすることができるとしている。

問

雑誌購入費を補う新たな財源確保の手段として導入する考えはないか。

市長

商品開発はロット数など問題もあるが、市の第3セクターである

市長

スポンサーの獲得や契約の継続が難しく、現段階では導入することは考えていない。

問

雑誌コーナーの存続は。

教育次長

現在35種類を雑誌コーナーに置いている。なくすことは考えていないが利用者の状況を把握し雑誌の種類を少なくすることを検討している。

ご当地キャラクター「みなたん」の今後の展開

問

ご当地キャラクターのグッズ等商品開発や販売等は考えているか。

市長



イメージキャラクター「みなたん」

商工観光部長

商標権の使用料の形になると考えられるが、申請をされた段階でまた検討することになる。

問

作製した製品を販売した場合は、利益の一部は市に収入として入るのか。



峯 隆司議員

宿泊を伴うスポーツ合宿や大会の招致は

一定の成果を上げている

問

スポーツ合宿や大会の招致は、地域経済活性化や、スポーツを通じたまちづくりに大きな効果がある。

教育長

宿泊施設との連携が不可欠だが、実施状況と今後の取り組みは、施設を有効活用し、既存の大会

を充実発展させ、スポーツ合宿や大会誘致に努めている。

また、市ホームページに施設の紹介や空き状況を掲載し、市観光協会と協力して首都圏の旅行会社や大学への誘致活動などを行っている。

新たな誘致では、120人が1週間行つた新潟医療福祉大学野球部の春季キャンプ、161人が競つた全日本ジュニアライフセイビング競技会がある。

問

康づくりやスポーツ合宿などの交流を図っていきたい。社会人である団体の実行運営には限界もある。

市長

マンパワーの確保には、地域づくり協議会と協議してみる価値はあるのかなと判断している。



2 日間にわたり開催されるフラワーマーチ

問

既設のスポーツイベントの改善や新たなイベントについては、

教育長

ママさんバレーボールさざなみ大会は、市の主催から実行委員会の運営となった。

関東地区ミニバス富浦さざなみ大会、小野忠明旗関東小学生剣道大会、ロード

問

後援、協賛するスポーツ団体主催イベントでの、市の補助や連携の体制は、

教育長

交付要綱に基づき補助している。周知・集客では、パンフレット作成や、合宿メニュー勉強会など、食を中心に支援してきた。

今後も、スポーツ交流に着眼した地域経済の活性化、市民自らが企画運営することで、スポーツに親しむ健



3000 人以上が参加するロードレース千倉



道の駅「和田浦WA・O!」



高木 幹男議員

和田浦WA・O!管理運営について

地域づくり協議会とテナントと協議して進めていく

問

和田浦WA・O!の管理運営については、南美舎と地区住民との間でトラブルが続いているが、市長はどう考えるか。

市長

指定管理者の地域づくり協議会と南美舎との協議では、南美舎の取締役の増員や南美舎の経営状況などを市担当者も

同席の上、地域づくり協議会の企画管理部会で報告し、問題点があれば改善策を検討することで調整している。

問

施設の借り入れ、契約更新は今までも約1年契約が望ましいと考えるが。

商工観光部長

管理計画や経営をしやすいするため5年で募集を行っている。指定管理者等の問題により事業困難になった場合等についてこの限りではない。テナントとの地域づくり協議会の関連も問題が生じた場合は契約を中断する場合もある。

問

南美舎の社長は8月に社長を辞任したが、1月にはまた社長に復帰したのは、なぜか。

商工観光部長

8月の理事会でそのような話があったことは、後になって私も聞いた。1月の理事会で南美舎の社長から混乱になったことを謝罪し、改めて社長を継続する旨、理事会で説明があり、了承された。

問

道の駅が和田町住民に順応していないし、不買運動もおこっているが。

商工観光部長

そのようなことは聞いてないが、少しでも多くの人に施設の現状を理解してもらうことが最善の策だと考え、取り組んでいく。

問

ファーマーズフェスタの時に地域づくり協議会や若い農業後継者と南美舎の間でトラブルがあったが。

商工観光部長

地域づくり協議会の理事会等で報告し、理解を得て実施された。にぎわ

いの創出は大切で、地域が主役となるため、地域づくり協議会とテナントと協議して進めていく。



和田地域センターに展示されている「シロナガスクジラ」の骨格標本



安田美由貴議員

広域ごみ処理施設の候補地の見直しを

選択肢の一つ

問

広域ごみ処理施設の用地はどの部分をどのような方法で買収してきたのか。

市長

これまでの任意買収は、平成27年1月に大貫共有財産管理会と取り交わした協議書に基づいた相続人の持ち分権の取

得で、事業用地は取得していない。

問

故Aさん持ち分の名義変更だけで土地を取得できると考えていたのか。

建設環境部長

Aさんの相続が解決すれば買収できると判断していた。

問

安房広域は入会地いりあいち（※）と知っていたのか。

建設環境部長

入会権は地域の慣習が裁判で認められ法律と同じ権利となる。弁護士に相談し入会権が否定できなかった。

問

所有権以外の権利を確認しなかったのか。

建設環境部長

登記簿で確認できなかった。入会権は地域の慣習なので、現地で聞き取り調査し確認すべきだ。

問

グリーンラインの用地は入会でも土地が売買できたのはなぜか。法的手続を経たら売買できないでは。

市長

大貫区と緑資源機構がどんな売買契約をしたのか、知らない。

※入会地

村や集落などの村落共同体が総有する土地で、処分には全員の同意が必要。

国民健康保険

問

「給料が昨年の半分になった。今まで工面してきたが、昨日納期が過ぎた。延滞金14%を払うことになるのか」と相談があった。延滞金は予算額300万円で、決算は700万円。延滞金の負担感はとても大きい。前年の所得から半減した場合、申請減免の対象にできないか。

市民生活部長

延滞金は適切に課税している。減免は申請に基づき判断している。分割納付等の相談を。

市長

いったん全額支払わなければならない。工事費を支払う段階で1割にできないか。制度を実施している県内の自治体を参考に検討したい。

介護保険の住宅改修

問

介護保険を使った住宅改修は、工事費を



介護保険の住宅改修で設置された手すり



老朽化した千倉衛生センター

問 候補地選定に係る条件、配慮すべき事項等は。

市長 施設の建設に当たっては、経済性や効率性を考慮する一方、

環境負荷の低減を目指し施設整備を行う。地元住民の理解や要望等を踏まえ、水質や悪臭等環境保全、車両による収集運搬状況等を考慮し、候補地選定を行う。



木曾 貴夫議員

し尿処理施設整備の進捗状況は

新たに建設候補地を選定するため、候補地45カ所について、適地かどうか検討している

また、土地取得、建設同意の取得等についての可能性もあわせ、総合的な評価をし、最終的に建設候補地を決定していく予定。

問 今後の整備計画は。

市長 平成28年末までに候補地選定し、29

年度中に建設候補地の確定を考えている。

その後、基本計画、環境影響調査を31年度まで、造成工事から建設工事を34年度末、35年度からの供用開始の計画。

問 広域ごみ処理施設整備事業について

事業の進捗状況は。

市長 昨年度末、事業用地取得に関する入

会地の問題が発生してから、事業の発注仕様書の作成などへの総合支援を目的とした事業者選定アドバイザー業務の公募を中止し、再公募のめども立っていない。

入会地の問題については、弁護士に相談し解決策を模索しているが、課題の解消に至っておらず、現在、事業の方向性について慎重に検討している。

問 丸山・和田地区統合小学校等建設事業について

事業の進捗状況は。

教育長 平成31年度の開校に向けて事業を進めている。地形測量、基本設計、地質調査業務は完了している。用地買収については地権者と用地交渉を進めている。

また、当該用地が農業振興地域に指定されているため、現在農業振興地域からの除外手続きを行っている。



つつみがやつ 鋸南地区の堤ヶ谷クリーンセンター



貞夫議員 辻

和田地区・温石川に架かる里見橋の 架け替え工事の進捗状況は

平成28年度より3年間事業で実施

問

里見橋の定期点検は。また、異常点検を行ったことはあるのか。

市長

5年ごとに定期点検を実施。修繕工

事を平成21・22年度で実施。また震度4以上の地震が発生した時は、異常点検パトロールを実施している。



里見橋

「みなみぼつそう・このしの予算」について

新設・改良等は掲載

問

市民生活直結部分や、区長要望等の説明スペースを、充実させる考えはないか。

市長

限られた紙面の中で、主要事業内容や大規模事業などを紹介するとともに、資産や基金など財政状況を知らせるほか、区長要望事項については、道路の修繕等に係るものが多い状況と承知している。特に道路整備事業の中で新設・改良を行うものについて、路線名や主な事業内容を「このしの予算」に掲載するよ

うにしている。
余剰公共施設活用の企業誘致の実績と今後の見通しは

企業誘致を推進、地域経済活性化を図る

問

これまでの実績は。

市長

下表参照。

問

貸し付け条件に対して、条例を制定すべきと考えるか。

市長

企業誘致という観点からは、地元雇用や地域経済の波及効果を考慮した上で交渉をしている。また、貸与する施設の建設に際しては、国や県の補助金などを活用しているため、経過年数にもよるが、

空き公共施設等立地企業一覧

	施設名	業種
1	上三原小学校	自然の宿「くすの木」
2	北三原小学校	サービス付き高齢者向け住宅
3	千歳小学校跡地	太陽光発電の売電
4	富山支所	特別養護老人ホーム
5	丸山運動公園	サッカースクール・英語スクール
6	七浦幼稚園・小学校	医療・介護施設
7	三芳保育所	電子部品（コネクター・スイッチ等）製造
8	富山保健福祉センター	粘着ローラー式掃除用具組立
9	丸山農産物直売所等	スイーツ用イチゴの卸売洋菓子製造
10	長尾幼稚園・小学校	新型観光施設 コミュニティセンター
11	白浜フローラルホール 白浜保健福祉センター	ダンスホール・宿泊施設

問

賀詞交換会等に、出席依頼する考えはないか。

総務部長

最初の年に、ぜひ、案内をしたいと思っている。

安房3市1町議会議長会議員研修

平成27年11月9日

地方創生の実現に向けた千葉づくり

富浦本庁別館大会議室で行われた安房3市1町議会議長会主催の議員研修会に18人が出席しました。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の中原

一成主査は、「創生本部

は、情報支援、人材支援、財政支援を行うが、あくまで取組の主体となるのは地方である。」とのことでした。

続いて、千葉県総合企画部 政策企画課の金子 隆光政策室副参

事（兼）室長より、千葉県の人口ビジョン、総合戦略について説明がありました。

総合戦略Ⅰ「東京オ

リンピック・パラリンピックを契機とした『世界中から人々がやってくるCHIBA』づく

り」のための社会資本の整備、総合戦略Ⅱ「地方創生の実現に向けた千葉づくり」に向けた雇用の創出、子育て支援、安全安心なくらし等の実現を目指していくことなどの説明がありました。

他の市町村に負けない独自性の強い政策の必要性を感じた研修会でした。

県南市議会議長会議員研修

平成28年1月15日

人口減少に立ち向かう—地方創生の課題

鴨川市民会館で行われた千葉県南市議会議長会主催の議員研修会に20人が出席しました。

長年地方分権の専門

家として、数々の講演、研修会の講師をされている大森 彌^{わたる}東京大学名誉教授から「人口減少に立ち向かう—地方創生の課題」と題して

講演をしていただきました。

今回の研修会では、「まち・ひと・しごと創生法について、あえて大枠だけ決めて、中身は、各自自治体の独自性が発揮できるが、それゆえ自治体間に差が付く可能性が高い。各自自治体の企画力、創意工夫が問われる。」とのことでした。

平成28年度から本格的に動き出す地方創生について、議会としても、条例面からサポートできるよう、各議員の資質の向上を目指したいと思いました。





追跡 あの一一般質問の行方は

定例会で行われた一般質問について、その後の状況をお知らせするコーナーです。

問

市部バイパスが開通したが、子ども達の安全確保のため、横断歩道と信号機の設置については。

(平成22年9月定例会)

答

地元警察から県警交通規制課に要望し、検討されることになっています。

その後

平成25年度に「南房総市通学路交通安全プログラム」にそって、関係機関で児童生徒の通学路の安全確保に向けた合同点検を実施しました。実際に現場検証を行い、信号機の設置場所、横断歩道の位置、子ども達の待機場所等の検討がなされました。平成26年度には設置されることが決まり、富山学園（富山小中学校）の開校に合わせ、平成27年度末に設置されました。



信号機が設置された市部バイパス交差点

問

小学校3年生までとなっている医療費の助成を、中学校3年生まで拡大する考えはないか。

(平成24年6月定例会)

答

入院は、県に合わせ拡大する準備を進めています。通院は、県でも小3までのため、子育て施策の中の優先順位や財政状況を考えて検討します。

その後

3月定例会で、通院と調剤に係る医療費助成を中学校3年生まで拡大する条例改正が可決されました。

今までは、通院費、調剤費は、小学校3年生まで、入院費のみ中学校3年生までが助成の対象でしたが、平成28年8月からは、通院費、調剤費、入院費のすべてが中学校3年生まで助成の対象となります。



8月から通院医療費助成も中学3年生まで拡大



こんなまちづくりに期待します

若者達が農業を生業とするために!!



かない たかし
金井 隆さん
(丸山地区)

南房総市の豊かな土地、温暖な気候を活かし様々な農業が営まれてきました。

米作り、野菜作り、花作り、南房総に住む人々の人柄から、一生懸命に働き、一生懸命に良い物を作ることが、南房総の品物は良品という高い評価をいただけてきました。

近年は高齢化や国の政策により、法人化、大企業家へと変化してきました。

私自身も平成24年より法人化しました。南房総の土地を守る、雇用を生み出すという思いで続けてきましたが、実際の経営は毎年の最低賃金の上昇、社会保険への加入などから、売り上げ単価は上がらないのに対し、経営負担の上昇は余儀なくされるという、かなり厳しい状況にあります。

南房総の土地、海、山を荒らすことなく守るために頑張っている若い農業従事者たちが、希望を持って農業を生業としていくことができる南房総市であってほしいと切に願っています。

議会広報編集特別委員会では、市民の皆様のまちづくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集しています。

連絡・投稿先 南房総市富浦町青木 28 番地
議会広報編集特別委員会
TEL 0470-33-1111 FAX 0470-20-4595

大好きな町のこと、もっと知りたい



おしもと はるみ
押元 治美さん
(千倉地区)

千倉に嫁いで20年。豊かな自然や魅力ある人たちに囲まれて幸せな日々を送っています。今では生まれた土地以上の愛着を抱くようになりました。

大切な町ですが、よく見回してみるといろいろ問題のあることが、最近になって分かってきました。何も知らなかった自分を恥ずかしく感じています。

議会は常に様々な政策が議論されています。もっと関心を持って接していかなければいけないのですが、日々の生活に追われてなかなか機会が持てません。議員さんたちの声をもっと聴きたいのですが、どうすればいいのでしょうか。

ネットで議会中継が行われていますが、各地区のコミュニティセンターなどでも流してもらえないかな、と感じています。気軽に議会に触れることができると思うのです。

また、議員さんたちに随時、地元選挙区で「市政報告会」のようなものを開いてもらえば、もっとありがたいです。

市政に関心を持つ人たちがどんどん増えるのではないのでしょうか。

みんなが潤い、幸せを感じながら生きていける町になればいいなあ、といつも願っています。

そのために自分たちができることは何か。真剣に考えながら、これからはもう少し積極的に議会や市政を見詰めていきたいと思っています。自省をこめながら。

用語の解説



◎会議の種類2

Q 議会運営委員会とは、
どのようなものですか。

A 議会を円滑に運営するために
設けられている常設の委員会
です。

会期・議事日程・議案等の取扱い
などの議会運営や、会議規則・委員
会条例等の協議、調査、審査をしま
す。
南房総市では、7人で構成されて
います。

審議の流れ

議会運営委員会（7人）

- ・会期の決定
- ・審査の方法
- ・その他議会に関すること

本会議（全議員）

- ・開会
- ・議案の上程・提案理由説明
- ・議案に対する質疑
- ・議案を委員会に付託

委員会（各常任・特別）

- ・付託された議案の審議
- ・採決

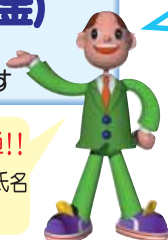
本会議（全議員）

- ・委員長報告
- ・委員長報告に対する質疑
- ・討論
- ・採決
- ・閉会

6月定例会は 6月3日（金）

午前10時から
予定しています

傍聴手続きは簡単!!
市役所2階で住所・氏名
を書くだけです。



南房総市議会のホームページで
録画配信しています。
スマホでも視聴できます。

市ホームページ

市議会

市議会インターネット中継
からご覧ください。

ありがとうございます。
これまでの市民の皆様
のご協力とご理解に、委
員一同感謝申し上げます。

「議会だより」が発行され
ることになります。



現在の広報委員に
よる「議会だより」
の編集も、今号が最
後になります。次号
からは、新たに選任
された委員により